

事務事業名 二日市温泉藤まつり開催補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：480

施策：	13 観光の振興	財務コード	01060103-07-395
基本事業：	01 観光資源の発掘と活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額	担当課	商工観光課
		担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
「二日市温泉藤まつり」実行委員会			市祭「二日市温泉藤まつり」の開催の為に組織する実行委員会（「二日市温泉藤まつり」実行委員会）の活動費として補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】 補助金交付申請書提出 補助金交付決定通知 補助金交付 実績報告 【二日市温泉藤まつりの概要】 ・日程：4月第3日曜日（令和6年度から） ・場所：天拝歴史自然公園 ・主催：「二日市温泉藤まつり」実行委員会（観光協会、商工会、市等） ・内容：ステージイベント、お茶会、市内事業者による出店、スタンプラリー等							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【二日市温泉藤まつりの概要】							
「二日市温泉藤まつり」実行委員会によって、本市祭の運営が活性化し、市民等来場者が本市祭および市内観光・物産に対して魅力を感じることができている。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
「二日市温泉藤まつり」への来場者数		人	5,000	5,000	10,000	10,000			10,000	
「二日市温泉藤まつり」での物産品売上額		円	209,680	297,750	600,000	600,000			600,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	2,700	2,700	2,700	3,000			
		国	千円			0	0			
		県	千円			0	0			
		地方債	千円			0	0			
		その他	千円			0	0			
一般	千円	2,700	2,700	2,700	3,000					
正職員人工数		人工	0.5	0.6	0.6					
正職員人件費		千円	3,908	4,814	5,029					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	6,608	7,514	7,729	3,000				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	本市を代表する祭りの一つとして定着しており、毎年約1万人の来場者で賑わっている。平成30年度、31年度は新たな取り組みとして、市役所新庁舎ブースと働く車（消防署、警察、自衛隊）を展示した。平成31年度（令和元年度）は雨の中実施した。令和2年度、3年度、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い開催中止。令和5年度は4年ぶりに開催し、雨の中の実施となった。令和6年度より、昨今の温暖化の影響に伴い藤の開花が早まっていることから、4月29日（昭和の日）の開催を4月第3日曜日に変更となった。雨の中の実施となった。									
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	来場者に本市の魅力を発信する取り組み、特に市の特産品等について更なるPRをしていく必要があると考える。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	平成27年度から「祭りでの物産品売上額」を把握するようにし、新たに成果指標に設定していることから、今後は成果向上に向けて取り組みを進める必要がある。						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
本市の魅力由来場者にPRできるよう、市物産品の試食会を実施したり、天拝山山麓の魅力発信する取り組みを実施する等、誰もが来場したくなるイベントにするための工夫を検討する必要がある。						令和6年度は、西鉄二日市駅及びJR二日市駅から無料循環バスを運行している。				
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
当事業は、観光協会を中心に実施しているイベントであったが、平成元年に市祭の一つとして位置づけて以来、観光協会、商工会、市を中心とした実行委員会を組織し開催している。						昨今の人件費・物価高騰に伴い警備費等が上がっているため、実行委員会より補助金増額を求められている。				